

第2回検討会議（令和5年1月20日開催） 主な委員意見

項目	内容
加入促進・啓発	市は市民に対する町内会加入のメリットや必要性の周知を進めてほしい。
加入促進・啓発	区長町内会長連合会としても、町内会活動の魅力ある促進をしなければいけない。
加入促進・啓発	加入率が高いからと言って活動が活発とは限らない。
加入促進・啓発	加入促進と負担軽減はセットである。役員等の負担が軽減されていくことを見える化することで、未加入者への加入促進につなげることができる。
負担軽減	町内会役員は時間的な負担が大きい。
負担軽減	市がこれまで町内会に協力をお願いしていた事業について、必要だと考えるものであれば、代替手段を考えるべきである。
負担軽減	行政からの依頼事項で負担になっているのは広報配布くらいである。
支援の取り組み	市が総会・会議資料、議事録等、引き継ぎに関する書類のフォーマットを提示すると、新役員の負担軽減につながる。
支援の取り組み	他の市民団体や町内会と連携するためのマッチング支援があるとよい。
支援の取り組み	町内会担当アドバイザーによる支援があるとよい。
その他	町内会と市が具体的にどういう関係性を作っていくのかということ、考える必要がある。
その他	地域のことは地域でやるという認識の方もいる。
その他	町内会やコミュニティを維持するためには、きちんと汗をかくことは必要だということが大前提である。
その他	行政が市民に対して、春日井市の町内会とはこういうものだということ（あるべき姿）を示すことも必要。
その他	行政の情報を伝える広報紙は重要である。
その他	町内会と関係する子ども会、PTA等の組織を所管する市役所の各部署が、縦割りをなくし、相互に関係していることを認識すべき。